

自治連だより川越



- 発行—川越市自治会連合会
- 事務局—川越市役所 地域づくり推進課内
川越市元町1-3-1 Tel 224-5705(直通)
- ホームページ <https://kawagoejichiren.jimdo.com>

主な記事

- 2面…市長から退任役員へ感謝状を贈呈
ブルーベリーの苗木を配布
令和元年度ゲートキーパー養成研修
- 3面…4支会に地域活動支援費を交付
令和元年度第2回クリーン川越市民運動(ごみゼロ運動)
- 4面…大東支会の紹介
編集後記

東京2020大会に向けた1年前イベントin川越

8月3日(土) ウェスタ川越多目的ホールにおいて「東京2020大会に向けた1年前イベントin川越」が開催されました。市全体でオリンピック・パラリンピックの開催を盛り上げていこうという機運づくりに貢献するため、川越市自治会連合会のブースを設けました。ブースでは、自治会連合会活動内容のパネルを展示し、自治会加入促進クリアファイルと花の種(黄花コスモス)を配布することで、自治会連合会のPRをしました。



自治会連合会活動内容のパネル展示



自治会加入促進クリアファイルを配布

「緑の募金」の報告と御礼

皆様のご厚意により、令和元年緑の募金は829万4,190円に達しました。募金は、7月4日(木)に(公社)埼玉県緑化推進委員会へお届けしました。

(公社)埼玉県緑化推進委員会からは、募金額の10%が自治会連合会へ、50%が川越市に交付されます。交付金は、公共施設の植栽や緑のカーテン事業等の緑化推進事業などに活用されます。自治会館等の緑化を希望する場合は、下記までお問い合わせください。

川越市環境政策課 みどりの担当
電話224-5866



小中居自治会館の緑のカーテン

市長から退任役員へ感謝状を贈呈

8月21日（水）、川越市役所迎賓室において、原田三夫前常任理事（古谷支会長）、根岸正春前常任理事（南古谷支会長）、吉武覺前理事（大東副支会長）に川合市長から感謝状が贈呈されました。

原田氏は、平成25年度に古谷支会副支会長に、平成28年度に同支会長に就任され、理事を3年間、常任理事を3年間務められました。

根岸氏は、平成25年度に南古谷支会副支会長に、平成28年度に同支会長に就任され、理事を3年間、常任理事を3年間務められました。

吉武氏は、平成25年度に大東支会副支会長に就任され、6年間理事を務められました。

3名の皆様、永きにわたりご尽力いただき誠にありがとうございました。



左から川合市長、本間連合会長、原田氏、根岸氏、吉武氏

ブルーベリーの苗木を配布

自治会連合会では、本年も健康まつりにおいてブルーベリーの苗木を配布します。

毎年多くの方にお越しいただいており、昨年より本数を増やして実施しますが、数に限りがありますので、予めご了承ください。

健康まつり

日 時：11月10日（日） 午前10時から
 会 場：ウエスタ川越（新宿町1-17-17）
 配布本数：300本（1家族1本）
 配布開始：午前10時から（健康まつり開会宣言後）



昨年の苗木配布の様子

令和元年度ゲートキーパー養成研修

7月29日（月）、東部地域ふれあいセンターにおいて、芳野・古谷・南古谷の各支会の自治会長を対象とした研修が開催されました。講師に臨床心理士の菊池礼子氏をお迎えし、「自殺予防とゲートキーパーの役割」をテーマにご講義いただきました。

菊池講師は、自殺対策の現状、ゲートキーパーの役割、専門性にかかわらずふだんの生活の中でできる行動を起こしていくことが自殺予防につながることを、事例を交えてお話しになりました。

「ゲートキーパー」とは、自殺の危険を示すサインに気づき適切な対応（気づき、声をかけ、話を聞いて、必要な支援につなげ、見守る）をすることができる人のことで、いわば「命の門番」とも言われています。

参加者からは、「聞くことの重要性が理解できた」「難しい内容だが、どうしたらいいかについてわかりやすかった」など感想が聞かれ、大変有意義な研修でした。

川越市保健予防課 電話227-5102



熱心に耳を傾ける研修参加者たち

4 支会に地域活動支援費を交付

自治会連合会では、地域住民の福祉の増進及び連帯意識の高揚を図るため、各支会が実施する事業を支援しています。

今年度は次の4支会が実施する事業に地域活動支援費を交付することに決定しました。

第六支会

【第六支会ふれあい祭り】

ふれあい祭りを通し、支会の各自治会員の交流を図る。談話コーナー、高齢者福引きコーナー、輪投げコーナーなどを設ける。

(交付金額10万円)

高階支会

【七町合同ふれあい祭り】

七自治会（稲荷町、清水町、藤間南、熊野町、諏訪町、藤原町、富士見）合同のふれあい祭りを開催し、地域間交流を図る。

(交付金額5万円)

第十一支会

【地域ふれあいまつり】

子ども、大人、お年寄りが自由に参加できる世代間交流推進事業を実施する。避難訓練、AED実技講習、自転車シミュレーター体験、プロの指導者によるラジオ体操などを行う。

(交付金額5万円)

名細支会

【名細地域環境美化事業】

ベストを作製し、環境美化活動の際に貸与することで、活動のPRを図る。12月にはオリンピック関連事業として笠幡駅周辺の清掃活動を実施する。

(交付金額10万円)

令和元年度第2回クリーン川越市民運動(ごみゼロ運動)

10月27日(日)は、本年度2回目の「ごみゼロ運動」の日です。

ごみゼロ運動は、昭和58年より続いている市内一斉清掃のイベントです。目的は、道路や公園、河川等の公共の場に散乱しているごみや空き缶を拾って片づけるなど、美化清掃活動を体験する中で、ごみを投げ捨てない心を育て、ごみの落ちていないきれいなまちにしていくことです。市民の皆様の積極的なご参加をお願い申し上げます。

なお、実施に当たっては、家庭ごみを出さないなどルールを守ってください。

雨天などによる中止の決定は、各自治会の自主判断となりますので、自治会へご確認ください。

台風等の災害が予想され、全市一斉で中止となる場合は、前日までに川越市ホームページでご案内します。また、資源循環推進課の電話ガイダンスも行います。

事務局：川越市資源循環推進課
減量リサイクル推進担当
電話239-6267



大東支会の紹介

【大東の地名由来】

自治連大東支会は狭山市と隣接する地にあり、人口34,848名（平成31年4月1日現在）、土地面積ともに川越市の約10%となっています。

大東の地名由来は、昭和18年に（旧）大田村と（旧）日東村が合併して大東村となったことに発し、昭和30年に川越市と合併して現在の自治会連合会大東支会となりました。



ふれあいマラソン「いざスタート!」

【大東はこんな街】

大東支会は21自治会で構成され、大東の自慢は「住民の交流と親睦を目的とした地域行事を数多く実施し、継続していること」と、他地域に負けない住民の団結力が誇りです。自治会（分館）対抗行事では参加者が1,000名を超える規模で開催される体育祭が今年で72回目、野球大会は64回目、ソフトボール大会及びママさんバレーボール大会は43回目と、それぞれが真剣に取り組み、地域交流と親睦を深めています。地域住民参加で初冬の1月に川越卸売市場を会場として開催する大東ふれあいマラソン&ウォークソン大会は10回目を迎え、大会関係者を含めると1,000名に近い大会になりました。

支会が主催者の大東チャリティーゴルフ大会も15回目を迎え、毎回200名超の住民が参加しています。大会の収益金はチャリティー資金として、世代間交流事業や地区社協の高齢者福祉事業に役立てています。

春秋の大東文化祭は大東市民センター多目的ホールを会場に盛大に開催され、大東地域会議とで共催する地区内小学校4校、中学校2校の児童生徒が主役の大東ふれあい音楽祭は好評で、毎回立ち見客で会場が溢れています。

また、大東地区の2公民館主催・共催のサークル活動や登録グループ活動で老若男女の住民が自由な立場で交流と親睦を深めています。

【大東支会が目指す街】

大東支会は「住みたい街・住みやすい街・住んでよかった街大東」を目標に、街づくりに取り組んでいます。皆様、大東地区に住んでみませんか？

編集後記

「広辞苑」に「自治会は、同一地域の居住民が地域生活の向上のためにつくる自治組織。」とあります。また、「自治とは、自分で自分のことを処置すること。社会生活を自主的に営むこと。」とあります。平たく言えば自治会は、自分たちのまちは自分たちで守る組織のことで、自治会活動は真のボランティア活動の一形態ということだと思います。

年4回発行の「自治連だより」は、市民部地域づくり推進課職員のサポートのもとに4名の広報委員が額を寄せ合って編集に当たっています。本号の4面に「大東支会の紹介」の投稿文が載っていますが、これは新しい試みで、皆様の自治会活動のお役に立つことを願ったものです。

私は、自治会長のやりがいを尋ねられることがあります。そのときの返事は、「笑い声の絶えない安全・安心のまちづくりを目指して活動していますが、特に子どもたちとふれあう行事（納涼盆踊り、川越まつり、子ども会育成会の主催行事、高齢者と子どもとの世代間交流事業）のときにやりがいを感じます」です。

(H.K)